

研究・調査報告書

報告書番号	担当
88	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and heart failure: a systematic review 飲酒と心不全：系統的レビュー	
執筆者	
Djoussé L, Gaziano JM.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Curr Atheroscler Rep. 2008 Apr;10(2):117-20	
キーワード	
心不全、アルコール、疫学	
要 旨	
<p>心不全 (HF) は、公衆衛生上重要な問題である。年間約 50 万人のアメリカ人が心不全と診断していると推定されている。内科的あるいは外科的な治療法の進歩にかかわらず、心不全の発症後の死亡率は依然として高く、一次予防の重要性は高い。修正可能な生活習慣要因のなかで、飲酒は心不全の形成に関わると考えられている。過量飲酒がアルコール性心筋症の原因となることは知られており、少量から中等量の飲酒は心血管病に対し予防的であるという報告もあるが、最近の研究では、飲酒量のみでなく、飲酒パターンや遺伝的要因も、飲酒と心血管疾患との関係に影響を与えることを示唆している。飲酒と心不全の関係について、エビデンスの現状をレビューする。</p>	